

■ ヴァイオリン 木野 雅之（きの まさゆき）



桐朋学園を経て、1982年ロンドンのギルドホール音楽院に学び、名匠イブラ・ニーマン教授に師事する。

音楽院卒業後、ナタン・ミルシュタイン、ルッジェーロ・リッチ、イヴリー・ギトリス等3人の巨匠に師事し研鑽を積む。

1983年、イタリアにてロドルフォ・リビツァー国際ヴァイオリン・コンクール優勝。

84年、ロンドンにてカール・フレッシュ国際ヴァイオリン・コンクール最高位を獲得し、W.H.スミス賞と聴衆賞を受賞。

85年、パリにてメニューイン国際コンクールでサロン音楽特別賞を受賞。

87年には『ロイヤルオーケストラ協会シルバーメダル』を授与され、ロンドンにて記念演奏会を行った。

88年、ベルリンにてルッジェーロ・リッチ国際マスター・コンクール優勝。

90年にはアメリカのパーム・ビーチ招待国際ヴァイオリン・コンクールに優勝。

ソリストとしてロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、ベルリン交響楽団、ポーランド国立放送交響楽団、モスクワ放送交響楽団、ロンドン・モーツァルト管弦楽団等と共演。また、サンレモ、オールドバラなど国際音楽祭への参加も多く、海外での活躍も盛んに行われている。

名古屋フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスターを経て、93年4月より日本フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスターに、02年7月よりソロ・コンサートマスターに就任。

多数のCD、DVDがオクタヴィア、サウンド&ミュージッククリエーション他より発売されており、いずれも高い評価を得ている。

世界各地での活動の他、2015年より毎年、インドネシアにてコンサートとマスタークラスを行い、ジャカルタ、ジョグジャカルタ、スラバヤ、バダバンバンジャン等で演奏。又、2018年にはマレーシアのクアラルンプールでも演奏した。

東京音楽大学教授、桐朋学園大学、武蔵野音楽大学講師、インドネシア バダバンバンジャン国立芸術院客員教授として後進の指導にあたっている。

JASTA(一般社団法人日本弦楽指導者協会)顧問。

使用楽器は恩師ルッジェーロ・リッチから譲り受けた1776年製ロレンツォ・ストリオーニ。《オフィシャル・ホームページ：<http://masakino.jp/>》

■ ピアノ 藤本 史子（ふじもと ふみこ）



九州女学院高校(現ルーテル学院)を卒業後、国立音楽大学ピアノ科卒業。

ピアノを、吉川由三子、小池和子、上田晴子、の各氏に、スイス・ルク国際音楽アカデミーにてアドリアン・コックス氏に師事。

これまでに、幾多の音楽コンクールで入賞し、

2008国際ピアノ伴奏コンクール優勝。

2009日本ピアノ歌曲伴奏コンクール優勝。

N響、日本フィル、九響をはじめとするプロオーケストラメンバーや、国内外の著名な演奏家と全国各地で共演を重ね、

ヴァイオリニスト木野雅之氏(日フィルソロコンサートマスター)や、コントラバス奏者深澤功氏(元九響音楽主幹)とのCD、DVDも多数リリース中であり、

チェロ奏者藤村俊介氏(N響)フルート奏者大村友樹氏(九響)とも、長年、各地で共演している。

又、ラズモフスキー四重奏団、葉加瀬太郎トリオや東京ペーター・ベンカレット、KMA等との共演やスコットランドDG地球救援音楽祭、球磨川音楽祭、みおつし音楽祭、ハ女おりなす音楽祭等にも出演。

現在、東京と九州を中心に、様々なジャンルのコンサートを企画、出演しながら、

地元熊本ではソプラノ歌手赤池優氏をはじめとする様々な音楽家と共演し

熊本地震後、学校、病院などの慰問演奏等も行っている。

熊本文化懇話会会員。